

献血協力者数の増加を図り 宮城県赤十字血液センターへ 「パックごはん」 15,000 袋の寄贈を決定



※寄贈式（右：宮城県赤十字血液センター 所長 鈴木 聡様、左：アイリスオーヤマ株式会社 執行役員 管理本部 本部長 田中 伸生）

アイリスオーヤマ株式会社（本社：宮城県仙台市、代表取締役社長：大山 晃弘）は、献血協力者数の増加を図るため、宮城県赤十字血液センター（所在：宮城県仙台市、所長：鈴木 聡）へパックごはん「低温製法米のおいしいごはん®」15,000 袋の寄贈を決定し、2024 年 9 月 4 日に寄贈式を執り行いました。企業から宮城県赤十字血液センターへの寄贈は今回が初めてです。

献血とは、病気の治療や手術などで輸血や血漿分画製剤を必要としている患者のために、健康な人が自らの血液を無償で提供するボランティアです。血漿分画製剤のひとつである免疫グロブリン製剤の必要量が急激に増加しているうえ、少子高齢化等の影響により主に輸血を必要とする高齢者層が増加している一方、若い世代が減少し 10～30 代の献血協力者数は 2013 年から 2023 年の 10 年で約 33%も減少※しており、献血協力者の確保は急務です。

当社では、全国の工場や拠点に献血バスを派遣し、社員に対して献血を呼びかけるなど積極的な活動を行ってきました。今回寄贈したパックごはんは、今年秋頃から仙台市内 2 か所の献血ルーム（AOBA、AER20）や献血バスで献血に協力された方に配布予定です。

輸血や血漿分画製剤を必要とする方のために献血協力者数の増加を図り、今後も関係団体と相互扶助の活動を目指してまいります。

■寄贈品

パックごはん「低温製法米のおいしいごはん®」150g×3 食パック 15,000 袋

【宮城県赤十字血液センター 所長 鈴木 聡様 より】

私達、宮城県赤十字血液センターは毎年多くの方から善意として血液を託されており、その血液は命の瀬戸際である人に届けられ、その方々の生きる力の源になっております。献血してくださる方にはパックごはんを食べながら「私達はいつも誰かを支えている」という気持ちを美味しさと共に感じていただきたいと思います。食べ物としてのごはんもさることながら、アイリスオーヤマ様のごはんのように温かい気持ちに私達も心から感謝申し上げます。

【アイリスオーヤマ株式会社 執行役員 管理本部 本部長 田中 伸生 より】

今日本が抱えている人口減少で献血者自体が減少しているという事例をお伺いし、会社としてできることを検討した結果、普段から献血活動してくださっている方への感謝の気持ちと地域貢献、社会貢献の気持ちを込めてパックごはんの寄贈を決定しました。宮城県内ではこのような寄贈は初めてということで、今回の寄贈を機に献血者の底上げにつながればと考えております。今後も、様々な形で献血事業を支援していきたいと思っております。